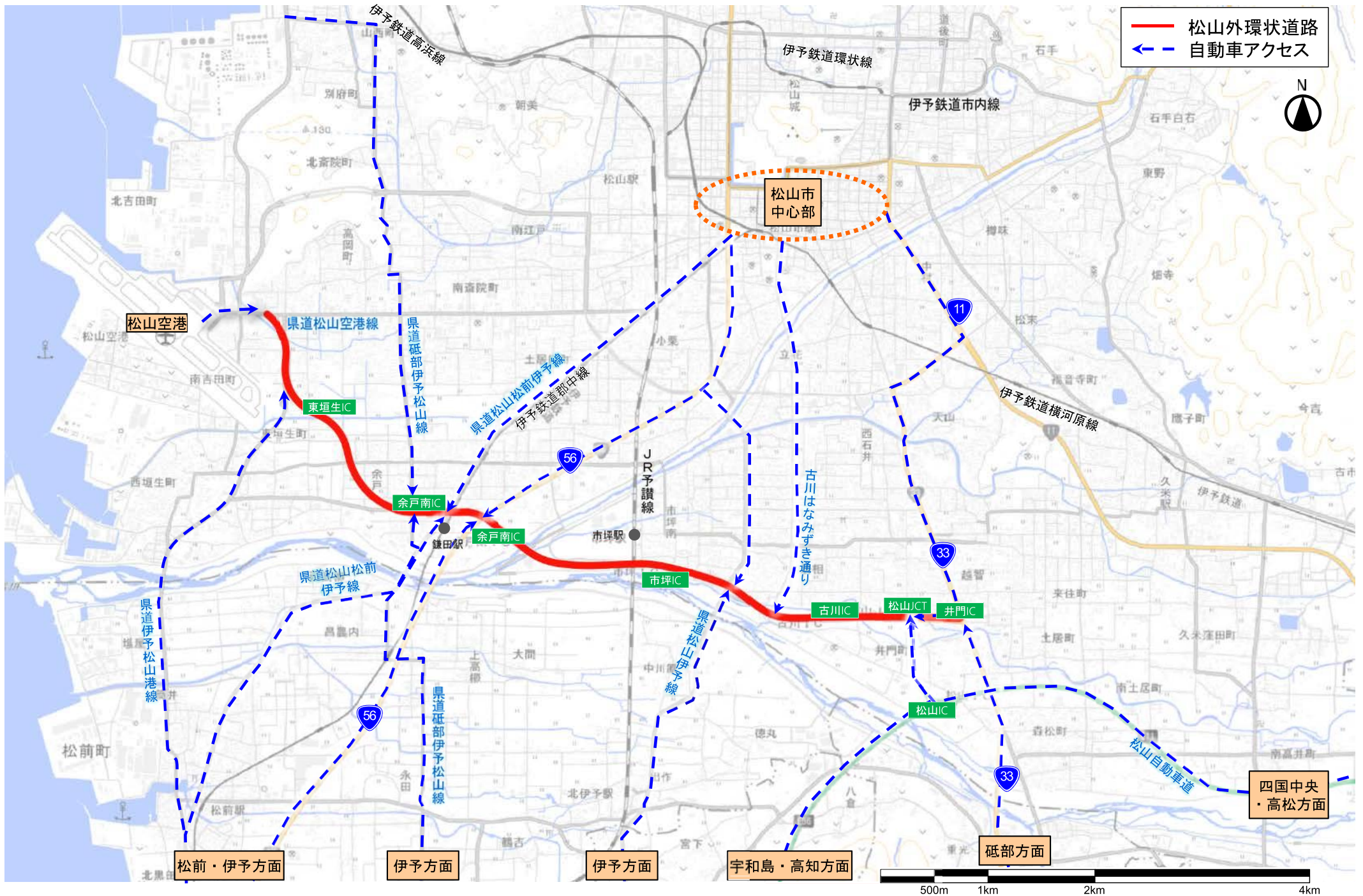


# 外環状道路沿線の 土地利用状況について

---

# 主要な拠点・方面から自動車・鉄道でのアクセス



## (1) 計画対象区間選定の基本方針

基本条件や除外条件を基に利用可能な区間と利用不可能な区間を区分。

### (1) 基本条件

- ① **完成形で利用可能な空間**である区間(完成形で橋脚等が建設される空間は利用しない) ※暫定計画を含む
- ② 道路が**高架構造**である区間(土工区間は利用できる空間が無いいため高架区間を対象とする)

### (2) 除外条件

- ① **他の施設がある**ため高架下利用が想定されない区間 【河川、水路、鉄道、道路、管理用通路、調整池 等】
- ② 高架下の**構造上**、高架下利用に適していない区間 【高さが低い】
- ③ **道路管理者の使用**が想定される箇所 【資材置場 等】
- ④ **既に利用用途が決まっている**箇所 【松山中央公園】

■ 高架区間



■ 他の施設(道路)がある区間



■ 構造上適していない区間(高さが低い)



■ 土工区間



■ 他の施設(鉄道)がある区間



■ 既に利用用途が決まっている箇所(松山中央公園)



## (2) 計画対象区間概況

- ・隣接する用途地域（第一種・第二種住居地域、準工業地域、市街化調整区域 等）
- ・計画対象区間内の河川や鉄道（河川：重信川、石手川 鉄道：JR予讃線、伊予鉄郡中線）



区間	区間1	区間2	区間3	区間4	区間5	区間6	区間7	区間8
用途地域	準工業地域	市街化調整区域	第一種・第二種住居地域 近隣商業地域	市街化調整区域	市街化調整区域	第二種住居地域	市街化調整区域	市街化調整区域
ゾーン区分	準工業ゾーン	郊外ゾーン	地域交流・鉄道連携ゾーン	郊外・高速IC連携ゾーン	広域交流ゾーン	地域交流ゾーン	郊外ゾーン	地域交流・高速IC連携ゾーン
概況	居住や業務の機能が複合する地域。松山空港が隣接する。松山外環状道路の供用が未定のため土地利用の変化が想定される地域。	田園集落が広がっている地域。	住宅が広がっている地域。東側は商業施設が立地。インターチェンジ、側道、国道56号、県道松山松前線伊予線、伊予鉄郡中線といった多くの交通が輻輳する区間	石手川の西側で田園集落が広がっている地域。余戸南IC、高速バス余戸南インターバス停が位置している。	石手川の東側で松山中央公園や競輪場、野球場、武道館等、集客施設が集積している地域。JR市坪駅が位置している。	北側は住宅、南側は重信川が広がっている地域。	北側は内川、南側は重信川に挟まれた田園集落。	北側は住宅、南側は田園集落が広がっている地域。東側は松山ICや井門IC、高速バス停松山インターバス停が付近に位置している。
まち協	生石・垣生地区 まちづくり協議会	余土地区 まちづくり協議会				石井地区 まちづくり協議会		

# 高架下等利用の意見聴取方法について

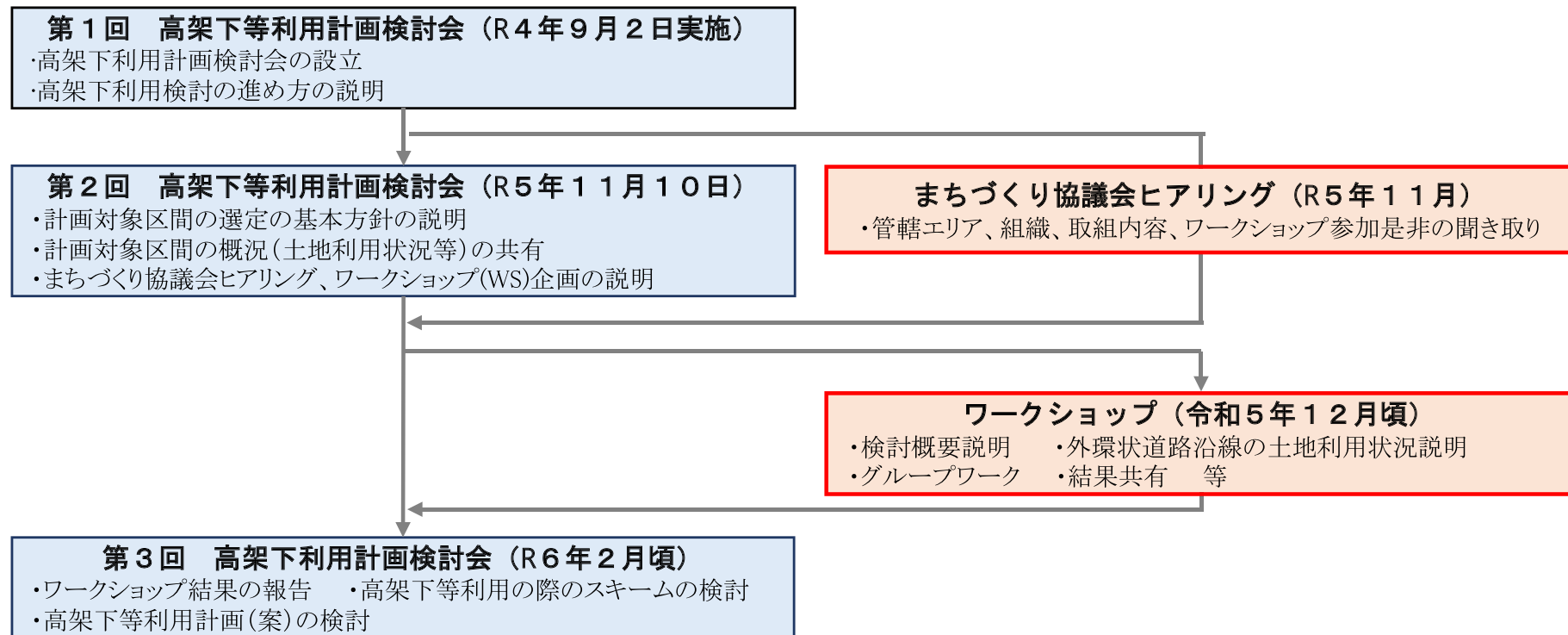
## 1. 意見聴取の目的と位置づけ

### ○地域住民等への意見聴取の目的

- ・第1回検討会での「**地域住民のニーズや様々な観点から意見を確認する方法を検討すべき**」という意見を踏まえ、**地域住民の意見をワークショップ等**を通じて把握した上で、**利用の際の手順及び条件等を検討し、高架下等利用計画を策定することを目的とする。**

### ○高架下等利用計画検討における位置づけ

- ・第2回検討会(今回)で地域住民等への意見聴取方法(案)に対して意見をいただき、見直ししたうえで意見聴取する。
- ・**意見聴取は、まちづくり協議会、地域の方、松山市、愛媛県、国土交通省が参加するワークショップ形式で行う。**  
地域の方は、まちづくり協議会ヒアリングで地域の代表として意見を述べるができる人物を紹介してもらう。
- ・意見聴取結果は、高架下等利用計画(案)に反映し、第3回検討会にて内容を報告する。



**高架下等利用計画の策定 (R5年度アウトプット)**

## 2. 意見聴取方法(案)

### ○まちづくり協議会へのヒアリング

目的	ワークショップ参加者の決定
対象	沿線の松山市まちづくり協議会（生石地区、垣生地区、余土地区、石井地区）
実施方法	対面によるヒアリング
実施期間	11月上旬
内容	①まちづくり協議会のエリア確認 ②まちづくり協議会の組織及び取組について ③ワークショップへの参加について（協議会及び地域の方）

## 2. 意見聴取方法(案)

### ○ワークショップ

- ・高架下等空間を利用する際に留意することとして、**交通安全、防犯、ルール・マナー、景観等の観点**について、**地域住民、行政(国・県・市)**が参加する**ワークショップ**で議論する。

<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象区間沿線の地域住民への高架下利用に関する理解を高める</li> <li>・利用者となりうる地域の方及びまちづくり協議会に施設整備、占用主体の条件、一般的な利用の条件を理解してもらう</li> <li>・地域の方及びまちづくり協議会に周辺で生活している人から見た利用の際の留意事項を聞き、利用の条件を検討する</li> </ul>
<p>参加者</p>	<p><b>【参加側】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>地域住民</b>：沿線「松山市まちづくり協議会」「地域の方」を想定。</li> <li>・<b>行政</b>：愛媛県、松山市を想定。行政の立場からの意見を期待。</li> <li>・<b>松山アーバンデザインセンター</b>：まちづくり・景観等のプロフェッショナルとして他の参加者から意見を引き出すような、半参加者・半ファシリテーターのような役割を期待。</li> </ul> <p><b>【運営側(事務局・ファシリテーター)】</b>議論活発化の為に話題投げかけ等を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・松山河川国道事務所(コンサル)、<b>学生</b>(愛媛大学の学生)</li> </ul>
<p>実施方法</p>	<p><b>【ワークショップ(WS)】 ※令和5年12月頃 ※想定対象：上記参加者のうち参加可能な方</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①<b>検討概要説明</b>(検討目的、対象範囲、整備・管理・占用主体となるための条件、利用条件など) (15分)</li> <li>②<b>外環状道路沿線の土地利用状況説明</b>(区間毎の沿道の特徴など) (15分)</li> <li>③<b>グループワーク</b>(対象区間全体及び各区間の想定される利用方法、利用の留意点、利用条件を議論) (40分)</li> <li>④<b>結果共有</b>(各グループで出た意見等の情報共有とまとめ) (20分)</li> </ol>
<p>成果</p>	<p>地域住民から見た留意事項</p>



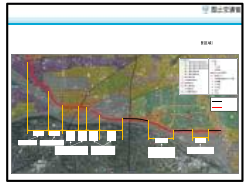
## 2. 意見聴取方法(案)

### ○ワークショップの実施イメージ

事 : 事務局・ファシリテーター    参 : 参加者

#### ステージ1【事務局説明】⇒参加者の理解を深める

- ① 検討概要説明 15分  
検討目的、対象範囲、整備・管理・占用主体となるための条件、利用条件
- ② 外環状道路沿線の土地利用状況説明 15分  
区間毎の沿道の特徴などを説明



【参加者】まちづくり協議会、地域の関係者  
松山市、愛媛県  
【サポーター】松山アーバンデザインセンター  
【ファシリテーター】事務局、愛媛大学生  
● 班ごとに議論を展開  
● 区間を目安に班分け 3〜4班程度

#### ステージ2【班ごと話し合い①】⇒高架下利用方法のアイデア出し

計画対象区間全般について、全国の事例や独自のアイデアから利用方法の案を出し合う。また、出された利用方法の案について、整備や利用する際の留意点の意見を出し合う。(20分)

○班

活用案	活用・整備における留意点
運動場	ボールが道路に飛び出る
駐車場	交通量が多い
...	

こんなふうに使えそう

フェンスは必要かな

#### ステージ3【班ごと話し合い②】⇒立地を考慮した区間の利用方法

参加者の居住する自治会に沿線の区間等について、ステージ2で挙げられた活用方法等を基に、整備できるかできないかは別として、箇所別に利用方法や利用条件をグループで検討。(20分)

1-1は駐車場がいいな

安全に利用するには...

1-4は近くに公園がないから...

○班

区間 1-1	1-2	1-3	1-4
駐車場 (収容)	資材置き場 (収容)	ドッグラン (交流)	
・	・	・	
・	・	・	
・	・	・	

#### ステージ4【結果の共有】⇒情報共有し全体での方向性をとりまとめ

班ごとに意見交換した結果を発表し、全体として合意形成できる事項をまとめる。(20分)

区間1-1	1-2	1-3	1-4
駐車場 (収容)	資材置き場 (収容)	ドッグラン (交流)	運動公園 (交流)
・	・	・	・
・	・	・	・
・	・	・	・

A班はこう考えました

いいと思う

なるほど

区間毎の利用方法案や留意事項がWSの成果